

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】

「未来を託された子ども達とともに」

会長 並木道義

このたび、子ども・宇宙・未来の会の若返りを（？）ということで、初代会長の的川教授、2代目会長の平林教授の後任として大役を引き継ぐことになりました3代目の並木と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。

私が子ども達と接するようになつたのは、的川先生とのご縁で宇宙科学研究所広報の「ミニミニ宇宙学校」の校長を務めたことがきっかけです。子どもたちから熱心な質問を受けながら、その未来と可能性を強く感じてきました。さらに宇宙教育センターの教材開発委員として教材やテキストを製作、KU-MAの講師として全国各地の「宇宙の学校®」で子ども達やボランティアの方々と活動をして今日に至っております。

KU-MAは、今年設立から9年を迎えます。ひとえに会員の皆さんに支えられてきたおかげと心から感謝申し上げます。当初は、メインの事業である「宇宙の学校」を共に開催していく団体を探すのにも大変苦労をしましたが、今では全国54か所、年間延べ1万7千人あまりの家族が学ぶ「学校」として定着してきました。主催団体の自主的な活動も増え、裾野の広がりを感じています。

「宇宙の学校」は、家族参加型の独自の形式で行つております。「宇宙の学校」を通じて家族の結びつきがとても良くなつてきたとの嬉しい便りも多く寄せられています。

子どもたちがこれから沢山の学びを通して一段一段階段を上るように進んでいくためには、常に一緒にいる家族との対話が重要な鍵になると思つております。

「宇宙の学校」の広がりを受け、近年ではそれ以外の事業も少しずつ行えるようになってきました。企業CSR活動への支援や教材販売などを通じて社会に貢献すると同時に、事業収入を得ることで、運営体制の強化に努めております。また子ども達を支える大人たちにも学びを広げようと、「おとなの宇宙の学校」開催にも取り組み始めました。KU-MAの歩みは決して遠くはありませんが、着実に前進するべくスタッフと共に努力を重ねております。

並木道義（なみきみちよし）略歴
 1969年東京大学付属航空研究所航空力学部河村研究室に入所。改組により宇宙科学研究所所属となり、科学観測用の気球の開発を長年にわたりて行つてきた。日本南極観測隊、オーストラリアでの「はやぶさ」の回収班など、海外での業務にも多く携わった。
 現在は、JAXA宇宙科学研究所企画・広報係、JAXA宇宙教育センター非常勤講師。平成25年よりKU-MA理事。

未来を託された子ども達とともに、宇宙の学びを通して一緒に歩んでいくことができるように、全国の会員の皆様方には是非ともお力添えをお願いしたいと思います。
 これからもKU-MA共々どうぞよろしくお願ひいたします。



4月に就任した
並木道義会長（左）と稻葉茂副会長（右）
(稻葉副会長からのご挨拶は次ページへ)